

。今までの生活歴、社会との関わり、家族構成などの情報収集を以て背景をふまえ、利用者、家族のニーズを引き出す。

。利用者の訴えにどうしたら対応できるか、他職種から意見を集め、できるかぎりこたえる。

。各職種の意見を聞き最終的に「ものぐらしさ」もできるかぎりおこなう。

A 7"ル-70

1. 本人の意志の尊重と  
実現に向けたサー  
ビスの提供
2. 在宅維持が出来る  
支援(今後の生活スタイル  
を尊重)
3. フライドに配慮して  
干渉し過ぎない  
(介護職の考えを押し付けない)

ワグネル-70

③ 相互に認め合い、意志確認の為  
の声かけを行い、その人に合った  
その人らしい生活を送ること。

D

- ◎ 家族の知らない施設内の生活状況もあろう
- ◎ 日々 私たちが行っている
- ◎ 了を家族へ伝えていく
- ◎ 尊厳とは声かけ確認 トーン  
仕草等 様子にふりかかむ最初の  
行 為

E

入居者一人一人の生活習慣を  
尊重し、無理に行動を制限せず  
「そのひとらしい生活」を支援する

- 自分でできる事は自立支援として、  
できない事はサポート支援
- その人の生活リズムや一日の流れを  
知ること
- 入浴・排泄等の対応時のプライバシー保護
- 意志決定や意志表示できない利用者様には  
安全安心を第一に考え生活を送れるように  
支援

Fグループ(デイ訪問特養)